

# 薬用植物園かわらばん

皆さ〜んちょっと覗いてみませんか？  
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



2018年  
12月15日  
第57号



## ダイダイ（ミカン科）

自然植物区 N 内で見られます。橙（だいだい）色は、この植物に由来する色ですが、実際の果実の色より少し赤みがかった黄色です。木から果実を収穫せずにそのままにしておくと、1年は残って翌年度の果実になる頃に落ちることから、代々（だいだい）と名付けられたという説もあります。この「代々」から「子孫繁栄」を掛けた縁起のよい植物として、お正月の鏡餅の上にはウンシュウミカンではなく、ダイダイの果実を使うのが一般的です。

生薬としては、成熟した果皮を橙皮（トウヒ）といい、芳香性健胃薬として西洋医学で使用するほか、未成熟の果実を枳実（キジツ）と呼び、漢方医学で理気薬として使用します。果汁は酸味が強く、良質な食酢としても使用されます。

## シクラメン（サクラソウ科）

自然植物区 N 入口近くで見られます。別名はカガリバナ。ギリシャからシリアの地中海地域に生える球根植物で、冬の代表的な鑑賞植物ですね。ヨーロッパでは、大航海時代に南米からジャガイモが入るまでは、シクラメンの塊茎を食用にしていました。また、瀉下を目的とする民間薬としても使用されていましたが、その有効成分でもあるトリテルペノイド配糖体の cyclamin を含み、多量に食すと激しい嘔吐や痙攣を起こしたりします。もともとのシクラメンには香りが無いのに『シクラメンのかほり』と唄われたことから、種間雑種を交雑させることで、芳香性のある「シクラメン」が開発されています。

今、こんな草木が楽しめますよ！！